

教育目標「豊かな心の生徒」

深く考え、自ら学ぶ生徒

<目指す生徒像>

思いやりの心を持ち、助け合う生徒

気力をもって、やりとげる生徒

<学校経営方針>

- ・「学ぶ楽しさ」を実感させ、自己表現力を基盤にした確かな学力を育成
- ・一人一人が輝き、活気あふれる学校、温かさやぬくみのある居心地のよい集団づくり
- ・地域・保護者が通わせたいと思える信頼される学校づくり
- ・チームとしての組織力を強化と教育公務員としての倫理観とタイムマネジメント意識を高める

学習指導

～基礎学力を基盤とした、自己表現力の育成～

- ① 学習規律・学習習慣の定着
 - ・授業始めと終わりの挨拶、聞き取りやすい声での返事・発言
 - ・課題は期限までに提出できるように、必要な個別支援を実施
- ② 基礎学力の定着
 - ・タブレットを使用した個別学習の推進
 - ・基礎学力コンクールの実施
- ③ 自分の考えや思いを表現する力(プレゼン力)の育成
 - ・生徒が「伝えたい」と思う問題解決的な授業の実践
 - ・学習形態の工夫(ペア学習・グループ学習・発表方法)
 - ・「五並トーク」や道徳の授業での意見の発表の仕方や聞き方(リアクション、うなずき、笑顔)の習得

総合的な学習の時間(輝)

～児童(生徒)運転で進む総合的な学習の時間～

- ・振り返りを手がかりにして生徒の願いや問題意識に沿う単元を展開する。
- ・課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現といった探究過程が繰り返される単元を展開する。
- ・校外の人との関わり、思いにふれる。
- ・SDGsを取り入れたり、思考ツールやICT機器を活用したりする。
- ・12月に全体発表の場を設け、表現力や発信力を養う。
- ・カリキュラムマネジメントによる教科横断的な学習を行う。

《合言葉「い・な・み」の実践》

「い」 いつもにこにこ 明るくあいさつ
 「な」 何でも挑戦 チャレンジ精神
 「み」 みんなで力を合わせ きれいな学校

Inami J. H. School

本年度の各分野の重点努力目標

生徒指導

- ① 思いやりのある温かい人間関係の築ける生徒の育成
 - ・「誕生日カレンダー」「ありがとうカード」「いいところ探し」など温かい言葉が飛び交う活動を計画的に実施する。
 - ・生徒自身が、学校生活を振り返り、改善していこうという気持ちを育てる。
- ② 自ら判断し合言葉「い・な・み」を意識した生活ができる生徒の育成

生活サポート

- ・日々の指導記録
- ・不適応者の早期発見
- ・担任を中心としたチーム支援
- ・生徒の多面的理解
- ・交友関係の理解

道徳指導

- ① 子どもたちが「自ら考えたくなる・実践したくなる」道徳授業
 - ・本質的な学びを促すために「導入・発問・振り返り」を事前に検討する。
 - ・授業形態(ペアや小集団による話し合い活動)や教具(ホワイトボードや付箋の活用)などを工夫する。
- ② 振り返りの手がかりとなる板書計画の研究
 - ・相互授業参観日を設け、生徒の思考を深める板書の研究協議を行う。

●清掃指導 ～無言清掃の励行 みんなで力を合わせ、きれいな学校～

- ・自分の手できれいな環境を作り出し、維持していこうという態度の育成
- ・集団の一員として役割や行動を自覚し、適切に行動する

●給食指導

- ・自分の食生活を見直し、栄養バランスを意識した食生活を実践する
- ・クラス全員が協力して衛生的に配膳・会食・片づけを行う

●図書館・読書指導「つなぐ、ひろがる図書館」

- ・読書活動の推進、学習活動の支援

●進路指導

- ・3年間を見通した全体計画のもと、各学年の目標を明確化
- ・高校卒業後の見通しを立てた進路指導、望ましい職業観と生きる目標の確立

●特別支援教育

- ・就労と生活の自立ができる人間の育成

特別活動

- ① MCぶりが魅力的で褒め上手なリーダーの育成
- ② 学校外でも物怖じせず、声・自分を出せる生徒の育成
- ③ 仲間とともに活動する喜びや感動を味わえる生徒の育成
 - ・チャンスを与え、任せて、褒める
 - ・生徒主体の全校集会・委員会の活性化
 - ・行事や全校集会では、縦割り班や実行委員が活躍できる場を設定し、充実感や達成感を味わわせる。
 - ・全校集会や帰りの会で「歌」の時間を設定し、いつでも大きな声で歌うことができる生徒を育成する。
 - ・「ありがとうカード」の活用…「早く・細かく・裏方も」
 - ・本年度の生徒会テーマ「イナミンピック」を意識させることで活力ある五並中学校を築いていこうとする。

現職研修

主体的・対話的な深い学びをする生徒の育成
～高め合い、支え合う生徒集団づくりを通して～

- ① 学ぶ楽しさの実感と自己表現力の育成のために
 - ・関わり合い深め合うための「問題解決的な授業」の創造
 - ・自己決定の場の設定と振り返りをつなぐ単元構想・タブレットの活用
 - ・授業研究会(数学：渡曾弘勝 教諭)
 - ・「五並トーク」や道徳授業の相互参観
- ② 安全で安心な元気な学校づくりのために
 - ・学校危機管理研修、不祥事防止研修：教頭
 - ・心肺蘇生研修、食物アレルギー研修：養護教諭
 - ・ネットモラル研修：生徒指導主事
 - ・不審者対応研修：市役所安全生活課

部活動 ～人をつくる～

- ・自己の個性や能力を発見し、その伸長を図る。
- ・礼節・協調性を伸ばし豊かな人間性を育てる。
- ・体育的活動を通して健康な身体と心を養う
- ・ルールを厳守する態度を養うことにより社会性の涵養を図る。
- ・チームとしての所属感や連帯感を身につけ、愛校心を育てる

家庭・地域との連携

- 保護者、校区自治会、学校評議員、校区健全育成会との情報の共有化
- 登下校巡視・見守りの依頼
- 校外教育活動の協力依頼

校区の小中学校との連携

- 学校間の情報の共有
- 小学校6年生の体育祭参加
- 小中音楽交流会の実施

保護者の願い

- 主体的な学習、学力の向上
- 規律ある学校生活
- 登下校・学校生活の安心安全

開かれた学校づくり

- 積極的な情報発信(五並中だより、学年だより、ホームページ等)
- 授業・行事の公開
- 安心安全な環境ときれいな環境づくり

